

郊外の夜

響いてくる、かすかな轟き
彼方の星雲から響いてくる
黒い空は液体のように悶え
月はあまりに暗暗と明る過ぎ
何かの運命が悶えている

少し高まり、静まり、また・・・
涼しい夜に風もない
確かに空からの響きのようで
しかも地の底から伝わってくる
何かを押し寄せてくる

大きなものが息をしている
何と苦しげな呻きだ
何かを産もうとしている
横たわって、汗びっしょりに・・・
大きなもの　　都会の息

(1982.5.6)